



泰山木

かしこく なかよく たくましく

大井第二小学校だより 令和8年4月24日(金) 第01号

「なかよく」を柱に子どもを育てる大井第二小学校

令和8年度がスタートして2週間が過ぎました。新入生(51名)・転入生(3名)を含め、全校児童330名で大井第二小学校の令和8年度が動き出しました。今年度は、学校の教育目標「かしこく・なかよく・たくましく」に対して、特に「なかよく」に力を入れた教育方針を打ち出しました。左下の図のように、本来「知(かしこく)・徳(なかよく)・体(たくましく)」の三領域は均等なバランスで子どもを育てる要素とされています。しかし、本校では特に「なかよく(かかわりの力)」を柱にした学校経営を展開することに挑戦します。右下の図のように、「なかよく(かかわりの力)」を土台として育てることで、その力が「かしこく(学びに向かう力)」や「たくましく(心と体を磨く力)」に波及して、仲間とともに勉強・運動・心を高めることに繋がっていくと考えます。



子どもたちは、今年から6月初旬実施にした運動会に向けて「なかよく」を柱にした取組をスタートします。学級・仲間づくりを大切にした運動会の姿に今からワクワクします。

大人(教師・保護者・地域の方々)はチームになって子どもを支える

以下の文章はPTA総会の各学年懇談会に載せた校長からのお願い文章です。このことは、地域の皆様にも共有し、ともに子どもたちを育てたいと思い紹介します。どうぞ一年よろしく願いいたします。

保護者の皆様、校長の吉村です。今年度も、保護者・地域・学校が共に手を取り合い、協働して子どもたちを幸せに導く教育を目指します。一年間どうぞよろしく願いいたします。

学校は安心・安全な場所であればなりません。だから、けんかも言い争いも仲間外れも…いわゆる子どもたちのトラブルは起きてほしくない大人は願います。少し矛盾した話になりますが、私は職員に、「トラブルは成長のチャンス」「トラブルを大人の都合で簡単に処理しないこと」をお願いしています。具体的には「トラブル(いじめを含め)は起きる」ことを前提に、その時に子どもたちが「自分の考えで、判断で、言葉で、」目の前の問題を乗り越えられる支援方法を全職員で勉強しています。解決の主人公は「子ども」です。この権利を大人が奪ってはいけません。不器用でも子どもが当事者となり解決していけるよう、大人(教師と保護者)はチームになって子どもを支えましょう。

令和8年度学級担任等の紹介

学年	1組	2組		学習支援
1	◎加藤玲也	阪上美心羽	◎は主任	宮川真由美
2	◎小林未聖	横内幹太		芦沢匡子
3	◎富田理恵	今井飛力		原田美子
4	◎中田紗希	大山真澄		丸山 優
5	◎峯芝知代	山岡啓人		保谷奈美
6	伊藤彩乃	◎原田将伍		
特別支援	みどり1組	みどり2組	さくら	学習支援
	小笠原奏	◎伊藤尚子	遠山詩織	鎌田智子
非常勤講師	なのはな	心の相談室	日本語指導	初任者指導
	牧野由記	川口香苗	西尾朋子	楯 博子
	4~6年理科	4年体育	3年外国語活動	A L T
	吉村佑美	丸山 優	芦沢匡子	アリエル

